

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	由利高原鉄道株式会社
実習期間	平成 30 年 2 月 8 日 ～ 平成 30 年 2 月 14 日
学生氏名	石田 成美
実習プログラム	<p>○1 日目 2 月 8 日木曜日</p> <p>08:50 朝礼</p> <p>09:00 矢島駅での指示作業 ・主に駅構内の除雪作業</p> <p>13:00 事前学習の指摘及び訂正 ・会社案内、概要説明</p> <p>14:00 矢島駅での指示作業 ・主に切符販売</p> <p>17:00 日誌作成</p> <p>○2 日目 2 月 9 日金曜日</p> <p>08:50 朝礼</p> <p>09:00 矢島駅での指示作業 ・主に閉そく機での通信</p> <p>09:56 8 Dまごころ列車乗車 ・アテンダント見学・体験</p> <p>11:50 矢島駅での作業 ・主に列車発車時の作業</p> <p>13:00 やしま冬まつり準備作業・大鍋搬出</p> <p>14:00 矢島駅での指示作業</p> <p>17:00 日誌作成</p> <p>○3 日目 2 月 10 日土曜日</p> <p>08:00 前郷駅長の指示作業 ・やしま冬まつりイベントスタッフ作業</p> <p>16:10 日誌作成</p> <p>○4 日目 2 月 13 日火曜日</p> <p>08:00 工務所担当者の指示作業・モーターカー乗車、除雪及び氷柱落とし見学</p> <p>13:00 工務所長の指示作業 ・羽後本荘駅でのしゅん功検査</p> <p>15:00 工務所長による保線に関する座学</p> <p>16:10 日誌作成</p> <p>○5 日目 2 月 14 日水曜日</p> <p>08:00 運転所担当者の指示作業・車両点検及び清掃、運転所内除雪</p> <p>13:00 運転所担当者の指示作業・車両清掃、運転所内除雪、連結作業見学</p> <p>16:00 日誌作成及び質疑応答を含む全体まとめ</p>

<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>多くのことを行うため多くの知識を必要とするがそれらを得たとしても基本的なことやそのことに対してどのように見通し、取り組み、行動してゆくか、それによってできるものは大きく違ふと気づき感じた。実習を終えて改めて振り返るとそれらは日々の生活につながるものでもあると感じつつもその意識を常に発揮していくことは心身ともに疲れ果ててしまう。そのためその意識は忘れなくとも発揮するタイミングを見つけることも大切であるとする。</p> <p>また地域のために、ふるさとのために、と思ひ様々なことを学んでいるがそのふるさと、地域のためにはただ一時ではなくつながり続けることがその地域のため、ふるさとのためになるということも学べた。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今後としては上記であげたように物事への取り組みの姿勢、意識を忘れずにそれを発揮できるタイミングを見極め、それをしっかり発揮できるように努力してゆきたい。また大学で学んでいてもしっかりと地域、ふるさとの情報を入手しふるさとに戻ってもつながり続け、ふるさとのためになれるような人材になるように学ぶべきところをしっかりと学び、成長してゆきたいと思う。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>地域とともに生きる鉄道。それ自体がこの会社の魅力であると感じる。今でこそ赤字であり、第3セクターとして県や市町村、自治体からの補助を受けて存続している状態ではあるが古くから根強く地域とともに歩み生きてきた鉄道会社であることがわかる。そうであるために地域とのつながりを常に持ち続ける事が大事である。日常のように車内ではアテンダントさんとの話が弾み、駅では地域の人々が雪かきなど整備をしてくれる。イベントでは地域の人たちが会社の人と一緒に盛り上げる。地域と頼り頼られつつ、ともに生きている、それがこの会社の良いポイントであり、魅力であると感じた。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	